



文豪の遺品がズラリ

◇ 県立神奈川近代文学館 ◇

佐々木さんと党県議団 資料室の収蔵品を視察

公明党の佐々木さやか党女性局長次長(参院選予定候補)と党神奈川県議団(鈴木秀志団長)は、このほど、横浜市にある県立神奈川近代文学館を訪れ、資料室などに収蔵された文豪らの貴重な資料を視察した。

県立神奈川近代文学館の井上靖記念室を視察する佐々木さん(右から2人目)と党神奈川県議団

同文学館は神奈川県ゆかりの作家や文学作品品に関連する肉筆資料、書籍、雑誌の収集、保存、展示を行う施設。その地下に設けられた

資料室には、夏目漱石や芥川龍之介、谷崎潤一郎、志賀直哉、井上靖、大岡昇平など、日本を代表する作家の原稿や創作ノート、日記、書簡、愛用の品、書画、初版本、作品掲載誌などが数多く保管されている。普段は人目に触れない場所に保存されている資料を目にした鈴木団長らは、「こうした稀少価値の高い所蔵資料を生かし、『文学の裾野』を県民の間に広げる上で効果的な取り組みを検討していきたい」と語った。